

平成 29 年 8 月定例記者会見

【8月7日(月)午後1時／4階特別会議室】

会見項目

- | | |
|-------------------------------|------------|
| 1 宮古・下閉伊地区ふるさと就職面談会について | (産業支援センター) |
| 2 「第7回三陸海の盆 in 宮古」について | (田老総合事務所) |
| 3 インバウンドセミナーについて | (観光港湾課) |
| 4 宮古・室蘭フェリーフェスティバル2017について | (観光港湾課) |
| 5 平成29年度宮古市総合防災訓練について | (危機管理課) |
| 6 早稲田大学応援部による「宮古市ふれあい発表会」について | (生涯学習課) |
| 7 2017やまびこフェスタについて | (川井総合事務所) |
| 8 閉伊川川下り大会2017について | (新里総合事務所) |
| 9 「第22回目黒のさんま祭り」参加について | (水産課) |

会見内容

別紙資料1～9のとおり。

記者との質疑

読売新聞記者

資料5の総合防災訓練についておたずねします。昨年は8月末に台風による大きな被害が出ましたが、今回の訓練の実施時期は例年どおりでしょうか。訓練内容を変えたりしたところはありますか。

市長

例年、8月の第4日曜日としています。訓練の開催場所が昨年は新里地区でしたが、今年は小山田で行います。訓練項目は昨年と同じです。

読売新聞記者

台風被害から1年経過するにあたって、市として防災関連行事の開催予定はありますか。

市長

毎年行っている総合防災訓練以外に、特別な行事は予定していません。

岩手日報記者

昨年の台風による死者・行方不明者は1名でしたでしょうか。

市長

台風の影響による死者・行方不明者はありません。同時期に行方不明者が1名おりましたが、台風の影響によるものではないと捉えています。

岩手日報記者

資料8の閉伊川川下り大会についておたずねします。従来の大会から変更したところは乗り継ぎ地点のみでしょうか。昨年の台風被害による川の水質や生態系への影響は分かかりますか。

市長

競技コースとしては、土砂の堆積により川の水深に深みがなくなったところがあります。水質や生態系については資料がなく、分かりかねます。

宮古民友記者

川下り大会の前日に行われていた花火大会は、今回のみ中止とするのではなく、来年以降も実施しないのでしょうか。

市長

現在、復興道路のトンネル工事中で、従来の打ち上げ場所の周辺に生コン工場があるなど、安全に実施することができません。また、閉伊川沿いに広く安全な打ち上げ場所がほかにないため、今後の実施も難しいと考えています。

読売新聞記者

共同仮設店舗「たろちゃんハウス」から最近また1店舗、本設への移転が完了したようですが、残る2店舗の本設工事が進んでいないと聞きます。退去期限の9月末日を延長するお考えはありますか。

市長

2店舗のうちの1店舗はすぐにでも退去できる状況のようですが、残る1店舗から、建設資材が揃わなくて困っているため退去期限を延ばしてほしいという相談を受けています。やむを得ない事情ですので、期限を延長する方向で考えています。

岩手日報記者

(仮オープンしている)道の駅たろうの、本格オープンはいつ頃になりますか。

市長

翌年度早々には本格オープンしたいと思っています。

読売新聞記者

(道の駅に建設中の)産直施設の完成が近づいているように見受けましたが...

市長

今月22日に完成予定です。営業開始は9月下旬と見込んでいます。

資料 1 宮古・下閉伊地区ふるさと就職面談会について

趣旨・目的	宮古・下閉伊地区の事業所の労働者確保を目的とし、求職者と事業所が直接面談する機会を設け、当地域の就業者増加につなげる。
日時	8月10日(木)午後1時30分～3時30分 (参加者受付：午後1時～)
場所	市民総合体育館（メインアリーナ）
主催	宮古地域雇用対策協議会、宮古公共職業安定所
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・参加企業と就職希望者の個別面談 ・就職相談、求人情報の提供などを行うハローワークコーナー等の開設
特記事項	<p>◎参加企業：43社（8月3日現在）</p> <p>◎参加者が面接に集中できるよう、<u>会場内での取材可能時間は、開会から30分間（午後1時30分～2時まで）とする。</u>なお、会場外での取材等は可能。</p>
問い合わせ	宮古地域雇用対策協議会（宮古公共職業安定所内 ☎63-8609）

資料2 「第7回三陸海の盆 in 宮古」について

趣旨・目的	東日本大震災により犠牲になられた多くの人々を供養し、被災地の人々と支援する人々が震災を風化させることなく、早期の復興を目指していこうという思いを共有し、地域文化を守り続けていくため、郷土芸能の共演の場として開催する。
日時	8月11日（金・祝） 午前10時～午後4時30分
場所	田老三丁目イベント広場（田老町漁協となり）
主催	第7回三陸海の盆実行委員会
内容	<p>■岩手県、宮城県の被災地などの郷土芸能の共演</p> <p>【出演団体】市内⇒黒森神楽、山口太鼓、摂待七ツ物保存会、小田代直子 市外⇒県内6団体、県外2団体</p> <p>■追悼行事、献花</p>
特記事項	<p>◎今年で7回目の開催</p> <p>◎過去の開催地</p> <p>2011年・大槌町</p> <p>2012年・釜石市</p> <p>2013年・大船渡市</p> <p>2014年・山田町</p> <p>2015年・宮城県気仙沼市</p> <p>2016年・宮城県南三陸町</p> <p>◎例年、延べ2,000～3,000人の来場者がある。</p>
問い合わせ	第7回三陸海の盆実行委員会事務局（臼澤良一 ^{うすざわ} ☎090-6600-2113）

資料3 インバウンドセミナーについて

趣旨・目的	日本全体で年間2,000万人を超える外国人観光客（インバウンド）が訪れている現状を踏まえ、宮古市においても今後期待されるインバウンド需要について、観光関係者、市民の方々へ周知することを目的とする。
日時	8月21日(月) 午後2時～4時 (開場は午後1時30分)
場所	宮古市役所6階大ホール
主催	宮古市
内容	<p>講演① 「日本が迎えるインバウンド到来時代」(14:15～15:00) 講師：小澤敏弘（おざわ としひろ）氏 <small>ティ-アイシー ト-キョ-</small> T I C T O K Y O 統括マネージャー</p> <p>講演② 「岩手のインバウンドの現状と課題」(15:10～15:55) 講師：呉 慧敏（ご けいびん）氏 岩手県国際交流協会外国人相談専門員 岩手大学非常勤講師</p>
特記事項	<p>◎入場料は無料</p> <p>◎定員100人（申し込み不要）</p> <p>◎年度内に3回の開催を予定しており、今回はその第1回目となる。</p>
問い合わせ	市観光港湾課もてなし観光係（☎68-9091）

資料4 宮古・室蘭フェリーフェスティバル2017について

趣旨・目的	宮古・室蘭フェリー航路を市民に広くPRするため、幅広い世代が楽しむことができるイベントを開催する。
日時	8月26日(土) 午前10時～午後5時
場所	道の駅・みなとオアシスみやこ「シートピアなあと」
主催	宮古港フェリー利用促進協議会、室蘭市、宮古市
内容	<p>【館内での催し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■川崎近海汽船株式会社によるフェリーの紹介（プレゼン） 13:30～14:00 ■宮古観光親善大使・みやさと^{かな}奏さんのコンサート 14:00～14:30 ■室蘭市役所による室蘭市の紹介（プレゼン） 14:30～15:00 ■ボルタ製作体験教室 *事前申し込み必要 *有料 ネジやボルトをはんだ付けして作る「ボルタ人形」などの製作体験。 講師：ボルタ工房（室蘭市）のスタッフ (1)ボルタ製作の部（小学4年生以上／各回8人まで）10:00、13:30、16:00 (2)工場模型製作の部（小学1年生以上／各回20人まで） 11:00、14:30 ■クイズラリー「もっと知ろう！宮古・室蘭フェリー航路」 ■室蘭市特産品の販売 ■室蘭市フォトコンテスト「撮りフェス」の写真展示 <p>【屋外での催し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■藤原ふ頭湾内クルーズ（小学生以上／各回先着15人）10:30、13:30、15:00 釜石港湾事務所の港湾業務艇による出崎～藤原間の湾内クルーズ。 ■室蘭やきとりのお振る舞い（数量限定）12:00
特記事項	◎ボルタ製作体験教室が、道外で実施されるのは、今回の宮古が初めて。
問い合わせ	市観光港湾課 港湾振興室（☎68-9093）

資料 5 平成 29 年度宮古市総合防災訓練について

趣旨・目的	災害対策基本法及び宮古市地域防災計画に基づき、防災関係機関が一体となり総合的かつ実践的な訓練を実施することにより、防災関係機関相互の協力体制と市民の防災意識の向上を図ることを目的とする。
日時	8月27日(日) 午前8時30分～10時30分
場所	株式会社合同資源社有地(小山田)及び隣接の閉伊川堤防
主催	宮古市
内容	大雨・洪水・土砂災害、地震災害への対策について防災関係機関の各種訓練を行うとともに、防災資機材展示を行う。
特記事項	<p>◎訓練時の情報伝達内容</p> <p>8時30分頃 土砂災害特別警報の発表(訓練)について、携帯電話やスマホへ緊急速報メールを配信</p> <p>8時50分頃 防災行政無線及びコミュニティ FM への割り込み放送により緊急地震速報の訓練放送を行う</p>
問い合わせ	市危機管理監 危機管理課 防災係 (☎68-9111)

資料 6 早稲田大学応援部による「宮古市ふれあい発表会」について

趣旨・目的	交流人口の拡大を促し、市内各校の吹奏楽や応援団などの資質向上と競技選手のレベルアップを図るほか、市民に応援の大切さを感じてもらうことを目的に行う。
日時	9月3日(日) 午後2時～3時30分 (開場は午後1時30分)
場所	市民総合体育館
主催	宮古市、宮古市教育委員会
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田大学応援部(応援団、吹奏楽、チアリーディング)が、東京六大学野球で行う応援パフォーマンスを披露。入場無料。 ・発表終了後には市内中学校の吹奏楽や応援団の個別指導を予定。 ・来場者には早稲田大学応援団グッズをプレゼント(数量限定)。 <p>【8月29日～9月7日の、早稲田大学応援部のスケジュール】</p> <p>■合宿 合宿期間：8月29日(火)～9月7日(木) 練習場所：グリーンピア三陸みやこ 多目的アリーナ</p> <p>■総合練習 発表日時：9月6日(水)午前11時～午後1時 発表場所：グリーンピア三陸みやこ 多目的アリーナ</p> <p>※どちらも見学自由。</p>
特記事項	<p>◎早稲田大学応援部が宮古市内で合宿を行うのは初めて。</p> <p>◎昨年の田老地区体育大会にゲスト出演してもらったことがきっかけ。学生の防災意識を高めることができるほか、復興支援の一助になればという応援部側の思いから、当地が合宿地に選ばれたもの。</p>
問い合わせ	市教育委員会 生涯学習課 体育振興係 (☎68-9120)

資料7 2017やまびこフェスタについて

趣旨・目的	「森・川・海」に象徴される特産品フェアと、宮古市川井が発祥の地である南部木挽唄の全国大会を開催し、「自然美のふるさとかわい」を発信することを目的とする。
日時	9月2日(土)・3日(日) 両日とも、午前10時～午後4時
場所	「道の駅・やまびこ館」イベント広場
主催	やまびこフェスタ実行委員会
内容	<p>◎地域特産品フェア 川井地域特産を中心に、商工会議所及び地域内外から出店を募り、特産品の紹介、地元商店の活性化を図るもの。</p> <p>◎第17回南部木挽唄全国大会 ・予選 一般の部 9月2日(土) ・決勝 一般の部、年少の部、年長の部 9月3日(日)</p> <p>◎ステージイベント 2日(土) やまびこコンサート「盛岡吹奏楽団」、「堀 トオル」 3日(日) 郷土芸能「田代念佛剣舞保存会」 前回大会優勝者唄披露「永野 興吉(ながの おきよし)氏」 やまびこコンサート「三上 紀子 御一行」</p> <p>◎野外イベント(両日とも) B級グルメ出店、Sea級グルメ出店、ケータリングカーコーナー、木の博物館コーナー、木挽体験コーナー、スナッグゴルフコーナー</p>
特記事項	<p>◎昨年は台風10号による災害の影響で中止</p> <p>◎前回(一昨年)の来場者数は、約7,500人</p>
問い合わせ	市川井総合事務所 地域振興係 (☎76-2114)

資料 8 閉伊川川下り大会 2017 について

趣旨・目的	全国に誇れる地域資源である閉伊川を活用したイベントを開催し、宮古市を県内外にアピールするとともに、参加者と地域住民の交流を促し、地域の活性化を図ることを目的として、平成元年から実施している事業。
日時	9月3日(日) 午前7時30分～午後3時
場所	閉伊川 腹帯・茂市間コース（開会式は、湯ったり館下方の河川敷）
主催	閉伊川川下り大会実行委員会
内容	<p>◎競技は一般の部と団体の部の2部門。</p> <p>◎一般の部は、2人1組でゴムボートに乗り、腹帯橋付近からスタート。湯ったり館下のゴール地点まで下り、タイムを競う。</p> <p>◎団体の部は、1チーム6人で、2人ずつ3組に分かれる。スタートとゴールは一般の部と同じ地点であるが、1隻のゴムボートを途中にある2カ所の中継点で、次の組が乗り継ぎ、タイムを競う。</p>
特記事項	<p>◎例年、300人前後が参加。</p> <p>◎競技は、早いチームでは40分前後でゴール。遅いチームでも90分前後でゴール。</p> <p>◎今年は3年ぶりの開催。平成27年は大雨による増水、平成28年は台風10号の災害により、2年連続で開催を中止した。</p> <p>◎昨年の台風10号により、川の流れが変わったため、団体部門の乗り継ぎ地点を変更した。スタート地点とゴール地点は例年どおり。</p>
問い合わせ	市新里総合事務所 地域振興係（☎72-2111）

資料9 「第22回目黒のさんま祭り」参加について

趣旨・目的	JR目黒駅前で開催される「目黒のさんま祭り」に参加し、さんまを通して、「水産のまち みやこ」の震災からの復興を首都圏へアピールするとともに、都市住民との交流や水産物の販路拡大を目的としている。
日時	9月10日(日) 午前10時～午後2時
場所	目黒駅前商店街（東京都品川区上大崎）
主催	主催：目黒駅前商店街振興組合 後援：品川区 協力：宮古市、徳島県神山町、栃木県那須塩原市、和歌山県みなべ町
内容	<p>■東京宮古同郷会の皆さんと一緒に、宮古港直送さんまを炭火焼きでお振る舞い。新鮮生さんまも無料配布。</p> <p>○「宮古の塩」を使った炭火焼きのさんま 6,500尾を、住民の方にお振る舞い。生さんま（500尾）も無料配布。</p> <p>○宮古の特産品を購入した人に、さんまのつみれ汁を提供（200食）。</p> <p>○宮古水産高校、宮古商業高校の生徒による「さんまの特製缶詰」「ミネラルウォーター」等の販売と、宮水太鼓の太鼓演奏</p> <p>○宮古市在住の演歌歌手・堀トオルさん^{ほり}の歌謡ショー</p> <p>■「目黒のさんま祭り」におけるその他の催し</p> <p>目黒のさんま寄席、協力4都市のふるさと物産展、商店街ワゴンセール、くじ引き抽選会、アートバルーンプレゼントなど</p>
特記事項	<p>◎さんま 7,000尾を宮古港から会場に直送。</p> <p>◎配送には、鮮度を保持するため海洋深層水^{ごおり}氷を使用。</p>
問い合わせ	市水産課 水産振興係（☎68-9099）